

(法第28条関係)

2023年度事業報告書

令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

1. 中間支援NPOとしての組織基盤・組織運営の強化

(1) 事務局長による事業統括と自主事業の模索

2021年度、当センターの収支は大幅な赤字に転落した。2022年度、2023年度とやや改善したが、なお赤字決算が続いている。当センターの収入のほとんどが行政からの委託と指定管理であるため、使途に自由はなく、団体の収入となる管理費を認められない契約もあるなど、行政との関係が深まるほど、赤字体質から抜け出せなくなるというジレンマが続いている。

2023年春、組織基盤強化の一環として事務局長ポストを新設し、現場の責任者として、全部署を統括する態勢を整えた。時代とニーズの変化に対応し、中間支援組織として生き残っていくためには、外部助成金の獲得に加え、企画力の向上と自主事業の展開が不可欠である。これらを見据え、事務局長を中心に「企画担当者会議」を開くなど、新しい試みの模索を開始した。

(2) 組織のスリム化と職員の部署横断的な活用

強靱な組織体質と柔軟な組織運営を実現するために、組織のスリム化を図り、職員の部署横断的な就労や異動を活発にすることに引き続き取り組んだ。限られた人員を効率的に活用するとともに、職員の適性を見極め、人材育成につなげていきたい。

(3) 執行会議機能の強化と職員参加の促進

三役と各事業所の所長クラスを構成員とする執行会議を引き続き定期的で開催し、三役・事務局・事業所間の情報共有を図るとともに、ネットワークセンターとしての重要な意思決定を執行会議に委ねる態勢を維持してきた。

2. ふくしま地域活動団体サポートセンター（サポセン）を中心とした事業

福島県からの委託を受けた事業には、①「NPO強化による地域活性化事業『NPO活動促進事業』」、②「チャレンジインターンシップ事業」、③「ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務」（「NPO、企業等との連携・協力（マッチング）事業」、「ふるさと・きずな維持・再生支援事業運営委員会」）がある。

(1) NPO活動促進事業 表1

NPO活動促進事業においては、専門性の高い講座の開催や情報提供、相談窓口の開設、協働のプラットフォームづくりを進めた。2023年度も県内の地域活動団体中間支援センター情報交換会を通して内容を検討しながら、共通のテーマの学習会を重ね、互いの得意・不得意分野を可視化することで、ネットワークの強化につとめた。

また、情報発信としては、機関紙『ニュースレター』を年3回発行した。

(2) チャレンジインターンシップ事業 表2

チャレンジインターンシップ事業としては、21の受け入れ団体で計35名の高校生・大学生・専門学校生がインターンシップ活動を行った。2020年度11団体14名、2021年度18団体38名、2022年度17団体29名と新型コロナウイルスの影響を受けながらも、安定した実績を積み上げてきた。2023年度からはインターン学生の定員を30名程度にしぼり、やる気のある学生の選定を行うことにした。

(3) NPO、企業、学生との連携・協力（マッチング）事業 表3

NPO、企業、学生との連携・協力（マッチング）事業では、事前アンケート調査、事前講座、企業対象の情報交換会を経て、NPOと企業の協働マッチング会を開催し、成果事業へとつなげる流れを構築した。

成果としては、(株)いちい×NPO法人ビーンズふくしま、(株)いちい×伊達貨物×輪楽創等の協働のほか、複数の事業を立ち上げることができた。また、NPO法人チームふくしまの「お互いさまチケット」については、取り組みが全国に広がりつつあり、きっかけづくりの一助となったと自負している。

(4) ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事務業務 表4

福島県の「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」は、内閣府の「NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援事業交付金」を活用し、震災復興に向けた活動を行うNPO等を支援する取り組みを通じて、福島県のきずなの維持・再生を図ることを目的としている。具体的には、①福島県において復興支援に取り組むNPO等、②原子力災害による風評対策に取り組むNPO等、③復興・被災者支援を行うNPO等への支援に取り組む中間支援NPO等を支援対象とする補助金事業である。

サポセンは2019年度よりこの事業の事務局業務を担い、事業を円滑に行うためのサポートを行っている。2023年度には、補助事業事務局としては、採択22団体の事業に関する現地調査・会計調査、報告書確認などを担当した。また、これに加えて、被災地の行政ニーズとNPOの特性を互いに理解するための交流会の企画補助も行った。

表1 ふくしま地域活動団体サポートセンターの事業概要(2023年度)

講座・事業等	実施日等	会場	講師等 (敬称略)	参加 人数	参加 団体
地域活動団体中間支援センター情報交換会	7月6日	郡山市ミューカルがくと館	—	19	17
	10月5日	福島市市民活動サポートセンター (ハイブリッド)	認定特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長 吉田建治	21	17
	1月25日	郡山市ミューカルがくと館	—	10	8
第7回 福島県NPOのつどい	12月21日	福島市アオウゼ (ハイブリッド)	ファンデレイジング・マーケティング 代表 東森歩	16	13
NPO相談	4月～3月	—	—	82件	
NPOに必要なインボイス講座	9月7日	福島市市民活動サポートセンター (ハイブリッド)	税理士法人さくら会計 代表税理士 加藤英夫	63	48
NPO広報講座	10月27日	喜多方市厚生会館	有限会社デザインマーブル 代表取締役 NPO法人うつくしまプラチ 代表理事 渡辺浩子	17	13
実践！IT活用講座	①11月20日 ②11月21日	①福島市市民活動サポートセンター (ハイブリッド) ②会津美里町本郷庁舎	認定特定非営利活動法人日本NPOセンター/ テックス・ジャパン事務局 チーフ(情報化支援事業) 渡辺日出夫	①30 ②18	①18 ②13
NPO新入職員向け初任者研修	①10月19日 ②11月22日 ③12月18日	①郡山商工会議所会館 (ハイブリッド) ②③ 福島市市民活動サポートセンター (ハイブリッド)	元福島キャンパス株式会社取締役社長/ 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事 深澤秀樹 ふくしま地域活動団体サポートセンター 所長 内山愛美	①8 ②9 ③8	①7 ②8 ③6
協働のための講座	12月20日	郡山市ミューカルがくと館	ファンデレイジング・マーケティング 代表 東森歩	7	5
ふくしまNPO経営者ラボ	①9月14日 ②3月19日 ③3月28日	福島市市民活動サポートセンター (ハイブリッド)	元福島キャンパス株式会社取締役社長/ 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事 深澤秀樹	①7 ②4 ③2	①7 ②4 ③2
NPO会計相談(専門家相談)	4月～3月	—	—	10件	
書類精査	4月～3月	—	—	設立認証申請 6件 事業報告書 311件 役員変更・ 定款変更 123件 その他988件	
機関紙『ニュースレター』vol.1 『ニュースレター』vol.2 『ニュースレター』vol.3	8月31日	サポセン事業紹介、NPO法施行25周年、インボイス制度について等			
	12月15日	CIS閉講式、NPO会議レポート、きずな・マッチング事業経過報告等			
	3月15日	NPOのつどい、記念フォーラムレポート、事業報告書作成ポイント等			

表2 チャレンジインターンシップ事業の概要(2023年度)

参加団体数	参加学生数	成果
21団体 内訳: 福島市(6団体)、南相馬市(1団体)、二本松市(2団体)、田村市(1団体)、郡山市(4団体)、いわき市(3団体)、西郷村(1団体)、会津若松市(2団体)、会津美里町(1団体) 計21団体	35名 内訳:高校生24名 大学生10名 専門学校生 1名 男性 6名 女性 29名	インターン: ①活動してみて、どのように感じましたか? 大変有意義だった 85.7% / 有意義だった 14.3% ②チャレンジインターンシップ事業を通じて、NPOへの理解は深まりましたか? 良く理解した 57.1% / 理解した 37.1% / あまり理解できなかった 2.9% / 理解できなかった 2.9% 受け入れNPO団体: ①受け入れをしてみて、何か変化はありましたか? 大きく変わった 14.3% / 変わった 57.1% / あまり変わらなかった 28.6% ②①で「大きく変わった」または「変わった」を選択した主な理由 はなんですか? スタッフの意識向上に繋がった 46.2% / インターン生がボランティアとして参加するようになった 15.4% / 新しい繋がりができた 26.9% / 他団体とのネットワークが強化された 7.7% / その他 3.8%
事業内容	期間等	備考
受け入れNPO法人募集	4月6日～20日	応募団体:31団体(内 継続団体:19団体、新規団体:12団体)
受け入れNPO法人選定	4月25日	採択31団体
学生募集	5月11日～5月31日	応募 68名 / 採択者35名
受け入れNPO法人決定	6月2日	受け入れ団体 21団体
オリエンテーション	6月15日～7月4日	オンライン実施
開講式	7月22日	郡山市商工会議所(ハイブリッド開催)
インターンシップ実施	7月23日～9月30日 (インターン活動期間)	現地活動及びオンライン
インターン生情報交換会	9月9日	郡山市ミューカルがくと館
メンター情報交換会	9月20日	オンライン実施
活動成果報告会・閉校式	10月28日	郡山市商工会議所

表3 NPO、企業、学生との連携・協力(マッチング)事業業務の概要(2023年度)

事業内容	期間等	備考
事前アンケート調査(県内NPO)	9月	851団体
事前アンケート調査(県内企業)	9月	148社
NPOアプローチ基本講座	10月18日	コトヒラク(郡山市)
	10月25日	いわき市産業創造会館
	10月26日	福島市市民活動サポートセンター
	11月1日	アピオスペース(会津若松市)
NPOプレゼン講座	11月13日	福島市市民活動サポートセンター
	11月14日	コトヒラク(郡山市)
	11月15日	アピオスペース(会津若松市)
	11月16日	いわき市産業創造会館
企業の情報交換会	11月27日	オンライン開催
NPOと企業の協働マッチング会	12月5日	郡山市労働福祉会館
	12月6日	福島市市民活動サポートセンター
	12月7日	アピオスペース(会津若松市)
	12月12日	いわき市産業創造会館
マッチング会後のアフターフォロー	12月8日～2024年3月31日	2024年度も継続中
成果事業	延べ参加者	講座 延べ15団体 / 情報交換会 6社9名 マッチング 21団体27名 / 21企業25名
	事業実施	4件 (その後事業実施に向けてフォロー中複数有)

表4 ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務の概要(2023年度)

事業内容	期間等	備考
団体募集	3月22日～4月11日	
事業提案書等の応募書類の内容確認	4月6日～4月20日	応募申請書内容確認、 応募39団体、採択団体13団体
会計説明会	6月28日	オンライン開催(継続団体に対しては資料送付のみ)
活動現地調査 事業遂行状況の確認	7月～11月	訪問団体 13団体
会計現地調査	11月～翌年1月	調査団体 13団体 (現地:9団体、オンライン:4団体)
中間実績報告内容確認	1月～3月	12団体
成果報告交流会	3月25日	
実績報告書の内容確認 活動成果報告書の作成・配布	3月下旬	

3. ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務業務(ふるふく) 表5、表6、表7

福島県の「ふるさとふくしま交流・相談支援事業補助金」には、「県内避難者・被災者心の復興事業補助金」と「県外避難者帰還・生活再建支援補助金」の2つの補助事業があり、これらの事務局業務を福島県より受託している。事務局業務の概要を表5、県内避難者・被災者心の復興事業の一覧を表6、県外避難者帰還・生活再建支援補助金の一覧を表7に示す。

2023年度補助金の募集は4月に開始され、計4回の募集期間が設けられた。より幅広く募集の周知をするため、例年行ってきた県内NPO団体への文書の送付や過年度の採択事業実施団体へのメールに加え、公益法人への文書送付や日本NPOセンター及び当センター

が受託しているふくしま地域活動団体サポートセンターのメーリングリストでも周知を行った。2024年度補助金の募集においても同様の周知を実施し、各回の応募書類の受付業務や不足書類の請求等を行った。

県内補助金事業では、支援対象が「県内避難者・帰還者」から「県内避難者・被災者」となり、範囲が拡大したことを受け、より広がりをもった支援事業が展開されることになった。また、県外補助金事業では、県外避難者それぞれが抱える悩みや課題の解決に繋がる支援事業となることが大切である。ふるふくでは、会計を含む報告書類の精査、現地調査による活動状況の確認を行うとともに、適正に事業実施がなされるよう助言等を行った。

表5 ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務業務の概要(2023年度)

事業内容	期間等	備考
令和5年度事業募集	(第2回募集)6月28日 (第3回募集)8月28日 (第4回募集)10月30日	中間支援センターを含む県内NPO法人、公益法人等への周知文書発送件数 (第2回)1,015団体 (第3回)1,009団体 (第4回)1,008団体 周知メール送付件数 令和4年度実施団体、県人会(第2.3.4回)70件 メーリングリストでの周知(第3.4回) 日本NPOセンター、ふくしま地域活動団体サポートセンター Webサイト掲載(第2~4回) ふくしまNPOネットワークセンター、ふくしま地域活動団体サポートセンター、福島市市民活動センター、ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局
令和5年度事業応募受付業務	(第2回募集)6月28日~7月12日 (第3回募集)8月28日~9月19日 (第4回募集)10月30日~11月13日	応募書類の受付、内容確認
通知書等送付	(第1回募集)6月 (第2回募集)9月 (第3回募集)10月~11月	応募団体へ通知文書等の発送(県内補助金事業のみ)
現地調査	9月8日~2024年2月22日	12事業(県内)
中間検査	11月21日~2024年1月11日	県内11団体、県外4団体
中間報告	9月15日~2024年2月末日	(1回目)県内は8月末迄、県外は9月末迄の報告書類 (2回目)県内は10月末迄、県外は11月末迄の報告書類
実績報告書精査	2024年3月29日~2024年5月14日	中間報告以降2月末迄分の会計報告および実績報告書類
完了検査	2024年4月21日~2024年5月12日	令和4年度実施団体(県内)
令和6年度事業募集	(第1回募集)2024年4月10日~4月30日 (第2回募集_県外)2024年5月27日~	中間支援センターを含む県内NPO法人、公益法人等への周知文書発送件数 (第1回)1,010件 周知メール送付 (第1.2回)過年度実施団体、県人会60件 メーリングリストでの周知(第1.2回) 日本NPOセンター、ふくしま地域活動団体サポートセンター Webサイト掲載(第1.2回) ふくしまNPOネットワークセンター、ふくしま地域活動団体サポートセンター、福島市市民活動センター、ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局
令和6年度募集説明会	2024年4月17日	オンラインの運営
令和6年度事業応募受付業務	(第1回募集)2024年4月10日~4月30日 (第2回募集_県外)2024年5月28日~	応募書類の受付、内容確認
事前計画書受付業務	随時	県外補助金事業採択事業のみ
概算払請求に係る事務業務	随時	提出書類の受付、内容精査のための書類確認
事務局ウェブサイト管理	通年	事業実施に係る事務連絡、書類ダウンロードデータの掲載 https://www.ff-shien.jp
問合せ・相談等対応	通年	報告書類作成及び事業実施に係る相談等の対応 問合せ件数

表6 令和5年度福島県県内避難者・被災者心の復興事業補助金交付決定事業一覧

14事業11団体

No.	所在地	事業者名	採択期	事業名
1	福島市	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	第1回	笑顔Again! 心の元気づくり応援事業2023
2	福島市	特定非営利活動法人 福島就労支援センター	第1回	生きがい健康づくり交流事業
3	福島市	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま	第1回	人と人がつながり支え合う心豊かなコミュニティ～しなやかに交流を深めつな げる「ふくしまコミュニティ」～
4				一人ひとりの心に寄り添い孤独を防止、人と地域が笑顔でつながる「みんな deほっこりプロジェクト」
5	福島市	特定非営利活動法人 福島ユナイテッドスポーツクラブ	第1回	ユナイテッドサッカー教室事業
6				ユナイテッド健康体操事業
7	郡山市	特定非営利活動法人 コースター	第1回	住民と共につくる復興公営住宅近辺地域のまちあるきマップ
8				復興公営住宅での交流サロンおよび夏祭りイベントの実施
9	二本松市	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会	第1回	心と農に栄養を！帰還農業者エールプロジェクト
10	二本松市	特定非営利活動法人 ライフケア	第1回	歌声サロンで避難者、県民交流事業
11	本宮市	一般社団法人 ClubOle	第1回	浪江つながり教室
12	相馬市	特定非営利活動法人 野馬土	第1回	野馬土がつなげる避難者・被災者交流支援事業
13	福島市	特定非営利活動法人 笑顔革命	第2回	小高ふるさと帰還者等 及び 県内避難者 支援事業
14	会津若松市	おおくま町物語伝承の会	第2回	大熊町・会津若松市 恩返しプロジェクト

表7 令和5年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金交付決定事業一覧

9事業6団体

No.	所在地	事業者名	採択期	事業名
1	宮城県	一般社団法人 東北圏地域づくりコンソーシアム	第1回	交流会の開催を通じた広域避難者コミュニティ自走に向けた伴走支援
2	茨城県	特定非営利活動法人 フュージョン社会力創造パートナーズ	第1回	茨城県内見守り戸別訪問事業
3	東京都	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター	第1回	首都圏交流会
4				福島県内での交流会
5				支援情報の説明・相談会
6	愛知県	特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	第1回	福島県内交流会
7	栃木県	ふくしまあじさい会	第2回	ふくしまあじさい会定例交流会
8				県内避難者及び帰還者との交流会
9	神奈川県	特定非営利活動法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	第2回	第14回 ふるさとコミュニティinかながわ

4. 福島市市民活動サポートセンター（ふくサポ）を中心とした事業

(1) 福島市市民活動サポートセンターの管理・運営 表8、表9

福島市よりの指定管理者として、福島市市民活動サポートセンターの管理・運営を行った。表8に2023年度のふくサポの利用状況を示す。来館者30,274人（前年度比20.6%増）、交流広場利用者2,950人（同22.7%増）、会議室等利用団体2,248団体（同10.1%増）となっており、いずれも前年度よりも増加している。新型コロナウイルス感染の緩和にとともに、ようやく利用者の減少傾向から脱却することができた。2021年12月より、福島市施設のオンライン予約・オンライン決済システムが導入されたが、利用者にとっては活用の幅が広がったといえる。

福島市市民活動サポートセンターの事業概要を表9に示す。福島市からの委託事業である市民活動ステップアップ講座（3回）、NPOマネジメント講座（4回）、市民活動講演

会のほか、指定管理者の自主企画として、スキルアップ講座（1回）、実践講座（5回）、まちづくりトークカフェ（2回）などを実施した。情報紙『ふくサポ通信』は年6回発行している。

また、ふくしま市民活動フェスティバル2023の事務局を担った。

表8 福島市市民活動サポートセンターの利用状況

項目	2021年度	2022年度		2023年度	
	N	N	対前年度増減率(%)	N	対前年度増減率(%)
来館者数(人)	19,724	25,110	27.3	30,274	20.6
交流広場利用者数(人)	1,895	2,405	26.9	2,950	22.7
会議室・多目的ホール利用団体数(団体)	2,024	2,041	0.8	2,248	10.1
印刷利用件数(件)	75	73	-2.7	101	38.4

注:各年度とも当年6月～翌年5月として集計

表9 福島市市民活動サポートセンターの事業概要(2023年度)

業務種別	事業・講座等	実施日等	会場	講師等(敬称略)	参加人数等
指定管理業務	福島市市民活動サポートセンター登録団体交流会	2024年3月22日		-	5団体5名
市民活動ステップアップ講座(受託業務)	NPO運営の基本講座 ～現場の声を事例にポイントを学ぼう～	2023年9月15日	福島市市民活動サポートセンター	NPO法人みんなのひろば 理事長 齋藤大介 氏 一般社団法人南相馬バブリックトラスト 代表理事 原田淳子	16名
	福島の社長が語る「巻き込み」の秘訣	2023年10月6日		株式会社ふらつとweb放送 代表取締役 盛藤隆伸 株式会社いちい 専務取締役 伊藤翼	17名
	実践から学ぶ広報術	2024年1月26日		福島市市民活動サポートセンター 所長 内山愛美	13名
NPOマネジメント講座(受託業務)	採択側の視点から読み解く助成金講座～応用編～	2023年9月21日		タカラ印刷株式会社 代表取締役 林善克	22名
	組織基盤を強化し、事業力をUPしよう! ～すべての事業は組織力の基盤から～	2023年10月4日		公益財団法人 日本非営利組織評価センター 業務執行理事 山田泰久	14名
	リサーチを活かした企画のつくり方	2024年1月29日		NPO法人こおりやま子ども若者ネットワーク 理事長 鈴木綾	13名
	～スムーズな事業運営をするために～ グラフィックレコーディングで話し合いを可視化しよう!	2024年2月2日	絵かきの庭 代表 菅野愛希	23名	
市民活動講演会等業務(受託業務)	健康講演会 ～体の仕組みから健康を考えよう!～	2024年3月7日		NPO法人POMK Project 理事長 狭間章博	30名
自主事業	実践講座① 福島NPO中堅者職員研修(連続3回講座) ～NPO中堅者職員は忙しい!そんな方の立ち止まりの時間～	2023年11月24日 12月8日 2024年1月19日		特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター常務理事 深澤秀樹 福島市市民活動サポートセンター 所長 内山愛美	各回 ①4名 ②2名 ③5名 ※延べ11名
	実践講座② ふくしまNPO経営者ゼミ～たま・ヒヨクラブ*	2023年9月13日 2024年3月6日		アドバイザー 特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター常務理事 深澤秀樹	ゼミ生5名
	まちづくりトークカフェ① 見て・聞いて・福島の魅力発見!! 日本銀行から福島の歴史を考えよう!	2023年11月10日		協力: 日本銀行福島支店、NPO法人御倉町かい わいまちづくり協議会	21名
	まちづくりトークカフェ② シルバー世代も楽しめる! ニュースポーツで健康づくり	2024年3月8日		NPO法人みんなのひろば 理事長 齋藤大介	12名
	スキルアップ講座 助成金の申請の仕方～基本編～	2024年3月8日		-	7名
サポート業務	ふくしま市民活動フェスティバル2023(事務局運営)	2023年11月18日	AOZ	主催 ふくしま市民活動フェスティバル2023実行委員会 共催 福島市	41団体 来数2,259名
指定管理業務	情報紙『ふくサポ通信』vol.108	2023年4月30日	-	-	-
	vol.109	2023年6月30日	-	-	-
	vol.110	2023年8月31日	-	-	-
	vol.111	2023年10月31日	-	-	-
	vol.112	2023年12月28日	-	-	-
	vol.113	2024年2月28日	-	-	-

*対象者は経営者になったばかりの人、または経営者になろうとしている人である。

5. まちなか交流施設（ふくふる）の事業

(1) まちなか交流施設の運営 表10

1) 施設の利用状況

福島市からの委託を受けて「まちなか交流施設」の運営を行っている。まちなか交流施設の月別・時間帯別の利用者数を表10に示す。年間を通じて平均的に利用されているが、週末のまちなか広場でのイベント、夏祭りや稲荷神社例大祭などが実施されると利用が多くなる。時間帯では昼食時の利用が多い。午前中及び昼過ぎからの利用は高齢者が多い。学習目的の高校生は夕刻、また土日の利用が多い。一人での利用がほとんどで、利用者同士の交流には結びついていない。

有料での「貸し切り利用」は定期的な団体利用が多い。年間総貸出件数は120件、利用人数は約600人、利用料徴収額は52,850円である。

表10 まちなか交流施設（ふくふる）の月別・時間帯別利用者数（2023年度）

	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	計
4月	217	228	320	196	167	168	129	138	46	1,609
5月	191	196	308	221	145	172	143	134	46	1,556
6月	209	136	328	226	169	146	159	136	82	1,591
7月	239	193	332	290	203	167	132	101	58	1,715
8月	258	276	400	263	233	278	222	212	206	2,348
9月	254	231	326	263	183	229	189	157	82	1,914
10月	290	323	424	331	424	282	190	190	75	2,529
11月	209	220	355	230	173	156	142	117	59	1,661
12月	228	165	320	226	155	169	133	111	53	1,560
1月	168	158	324	189	134	162	118	116	42	1,411
2月	210	154	408	238	147	160	154	102	37	1,610
3月	201	160	374	224	188	155	162	138	41	1,643
計	2,674	2,440	4,219	2,897	2,321	2,244	1,873	1,652	827	21,147

2) 市民交流の推進

季節ごとに折り紙や手芸品などで手作りの装飾を施し、利用者を迎えている。これが利用者との会話や共同での作業につながることもある。隣接する「まちなか広場」との連携はできておらず、イベント参加者の休憩・トイレ使用のみにとどまっている。まちなか交流施設での市民交流に結び付けるには、イベント開催団体との事前協議も必要と思われる。

(2) よつかどサロン事業

1) 「本」による交流 表11

よつかどサロン事業の一環として本の貸し出しを行っている。貸し出し実績を表11に示す。本の「貸し出しランキング」や「感想カード」を掲示し、来館者同士のつながり形成の一助としている。

表11 まちなか交流施設(ふくふる)よつかどサロン事業による本の貸し出し等の実績(2023年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出冊数	11	17	19	22	25	21	20	16	12	11	6	8	188
持寄冊数								4		2			6

2) 「展示」による交流

様々な団体のポスターやパンフレットの持ち込みがあり、その掲示により来館者と職員との会話が生まれている。また、市内の建物などの問い合わせも少なくない。

3) よつかどサロン座談会

よつかどサロン座談会を6回実施した。各回のテーマは以下のとおりである。

第1回「お互いさまチケットの仕組みを体感しよう!!～見て、聞いて、体感して、福島の今を語る座談会」、第2回「ストーリーから福島の魅力を知ろう! ～演劇を通じた地域の魅力発見と挑戦!!」、第3回「横浜との活動交流～サンタプロジェクト等からまちづくりを知ろう!」、第4～6回「映画を通して地域の魅力を語り合おう!」。

6. 助成金事業 表12

ふくしま元気市民活動助成金(上限10万円)は応募3件に対して3件、のっぽ基金助成金(上限100万円)は応募3件に対して1件の助成を行った。

表12 ふくしまNPOネットワークセンターの助成金事業(2023年度)

助成金の種別	助成対象団体	事業	助成金額
ふくしま元気市民活動助成金	特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティ プチママン	医療的ケア児・者等とその保護者への支援事業	100,000
	Nっ子ちゃん	低出生体重児とご家族の交流事業と啓発事業	100,000
	mama'p	しらかわKOKODE情報発信事業	100,000
のっぽ基金助成金	NPO法人 福島青年管弦楽団	福島の青少年と台湾人音楽家による 国際交流事業 in 福島市・台北市(台湾)	1,000,000

注1: 応募件数は、ふくしま元気市民活動助成金3件、のっぽ基金助成金3件である

注2: ふくしま元気市民活動助成金の審査は三役にて行った。

注3: のっぽ基金助成金の選考会は11月15日に福島市市民活動サポートセンターにて開催した

7. 行政・NPO・企業との連携・協働とネットワークの構築

(1) 受託・指定管理事業 表13

ふくしま地域活動団体サポートセンターの受託、福島市市民活動サポートセンターの指定管理を中心に、多様な主体との連携・協働を深め、外部資金を得てきた。これら外部資金による事業の概要についてはすでに述べたとおりである。

表13 ふくしまNPOネットワークセンターの受託事業等(2023年度)

種別	名称	委託者等	期間	主管部署
指定管理	福島市市民活動サポートセンター指定管理業務	福島市	2023年4月1日 ～2024年3月31日	福島市市民活動 サポートセンター
			2024年4月1日 ～2025年3月31日	
委託	市民活動支援講座業務	福島市	2023年4月1日 ～2024年3月31日	福島市市民活動 サポートセンター
			2024年4月1日 ～2025年3月31日	
	まちなか交流施設運営業務	福島市	2023年4月1日 ～2024年3月31日	まちなか交流施設
			2023年4月1日 ～2024年3月31日	
	よつかどサロン事業業務	福島市	2023年8月25日 ～2024年3月15日	ふくしま地域活動団体 サポートセンター
	NPO強化による地域活性化事業 「NPO活動促進事業」業務	福島県	2023年4月1日 ～2024年3月31日	
			2024年4月1日 ～2025年3月31日	
	NPO強化による地域活性化事業 「チャレンジインターンシップ事業」業務	福島県	2023年5月1日 ～2024年3月31日	
		2024年4月1日 ～2025年3月31日		
ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務	福島県	2023年4月1日 ～2024年3月31日		
		2024年4月1日 ～2025年3月31日		
ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務業務	福島県	2023年4月1日 ～2024年3月31日	ふるさとふくしま交流・相談 支援事業事務局	
		2024年4月1日 ～2025年3月31日		

(2)行政等の各種審議会・委員会等への参画 表14

福島県、福島市をはじめ、社会福祉協議会、共同募金会など公共的な団体の各種委員会・協議会に、中間支援組織の資格において、参画を要請されている。

表14 ふくしまNPOネットワークセンターの理事等による各種委員会等への参画状況(2023年度)

委員会等の名称	参画した理事・職員	任期	所管部署
福島県社会福祉協議会 ボランティア活動推進委員会	職員 内山愛美	2023年4月1日 ～2025年3月31日	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島市中心市街地活性化協議会	副理事長 菅野真	2023年4月1日 ～2025年3月31日	福島商工会議所 総合企画部
社会福祉法人福島県共同募金会 評議員	理事長 牧田実	2021年6月10日 ～2025年6月9日	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県道路交通環境安全推進連絡会議 ・アドバイザー会議	理事長 牧田実	2023年4月1日 ～2025年3月31日	国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所
会津若松市行政提案型協働モデル事業 協働パートナー選考審査会委員	理事 内山愛美	2023年4月 ～2025年3月	会津若松市 企画政策部企画調整課 協働・男女参画室
会津若松市市民活動団体支援業務 委託プロポーザル選考審査会委員	理事 内山愛美	2024年5月 ～2024年7月	
福島市安全で安心なまちづくり推進協議会 委員	理事 遠藤ヒロ子	2022年4月1日 ～2026年3月31日	福島市 市民・文化スポーツ部生活課
福島県行財政改革推進委員	理事 内山愛美	2022年11月19日 ～2024年11月18日	福島県 総務部人事総室行政経営課
福島市勤労青少年ホーム運営委員会	職員 渡邊久美子	2023年4月1日 ～2024年8月29日	福島市 商工観光部産業雇用政策課
福島市働く婦人の家運営委員会	職員 村松麻衣	2023年4月1日 ～2024年8月29日	福島市 商工観光部産業雇用政策課
中央東地区ふくしま共創のまちづくり計画推 進懇談会	職員 高槻光子	2023年7月 ～2024年3月31日	福島市 政策調整部地域共創課
日本NPOセンター評議員	理事 内山愛美	2021年7月1日 ～2025年6月30日	特定非営利活動法人 日本NPOセンター

(3)ふくしま NPO ネットワークセンターが会員となっている団体 表15

友好関係にある複数の特定非営利活動法人、社団法人等の正会員・賛助会員となり、連携・協力の関係を築いている。

表15 ふくしまNPOネットワークセンターが会員となっている団体一覧(2023年度)

団体の名称	会員種別	会費等
特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	賛助会員	5,000円/年
一般社団法人ふくしま連携復興センター	賛助会員	6,000円/年
特定非営利活動法人日本NPOセンター	会員	10,000円/年
NPO法人会計基準協議会	会員	30,000円/年
まちの駅ネットワークふくしま	会員 (福島市市民活動サポートセンター)	3,600円/年
FMボコサポートクラブ	会員	6,000円/月

(4)他団体の主催事業・講座等への理事・職員の参加 表16

中間支援組織の構成員にとって、研修や講座への参加は重要な学びと情報交換の場となる。ネットワークセンターでは、業務に支障のない限り、積極的な参加を勧めている。

表16 他団体の主催事業・講座等への理事・職員の参加(2023年度)

事業名	参加者	開催日	開催場所
NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ	職員 渡邊久美子	2023年5月25日、6月9日	WEB開催
NPO支援センター初任者研修会2023	職員 佐藤優未	2023年8月1・23日、9月6日	WEB開催
NPOと行政との対話フォーラム2023	職員 内山愛美 職員 高槻光子 職員 村松麻衣	2023年8月31日	神奈川県
第4回これからの災害支援を考える北海道フォーラム	職員 渡邊久美子	2023年9月5日	WEB開催
NPTechイニシアティブ第1回 ITリテラシー入門講座 ～用語説明からパソコン選び～	職員 渡邊久美子 職員 安増恵子	2023年9月5日	WEB開催
ぼうさいこくたい2023	職員 渡邊久美子	2023年9月18日	WEB開催
あきたNPO会議2023	常務理事 深澤秀樹 職員 内山愛美 職員 村松麻衣 職員 高槻光子 職員 渡邊久美子	2023年10月14・15日	秋田県
NPO法施行25周年シンポジウム 市民セクター全国会議2023	職員 内山愛美 職員 村松麻衣 職員 伊藤孝信 職員 高槻光子 職員 永井有未 職員 渡邊久美子	2023年12月1日・2日	東京都

8. 組織運営のための会議 表17

表17 ふくしまNPOネットワークセンターの会議開催状況(2023年度)

種別	名称	開催日	場所	議案
総会	通常総会	2023年7月29日	福島市市民活動サポートセンター	①2022年度事業報告の件 ②2022年度活動決算の件 ③役員選任の件
理事会	第1回	2023年6月29日	福島市市民活動サポートセンター	①2023年度通常総会の開催について ②2023年度「事業方針・事業計画」「活動予算書」について ③理事および会員増員の検討 ④「ふくしま元気市民活動助成金」「のっぽ基金助成金」のあり方について
	第2回	2023年7月29日	福島市市民活動サポートセンター	新規会員の入会承認の件
	第3回	2023年7月29日	福島市市民活動サポートセンター	理事長、副理事長及び常務理事の選任について
	第4回	2024年4月19日	福島市市民活動サポートセンター	①「ふくしま元気市民活動助成金」「のっぽ基金助成金」のあり方について ②新規会員の入会承認の件
三役会	6/15・29 7/13 8/17 9/14 10/12 11/9 12/14・19・21 1/4・18 2/8・27 3/14 4/11・19 5/15		福島市市民活動サポートセンター他	適時課題
執行会議	6/15 7/13 8/17 9/14 10/12 11/9 12/14 1/18 2/8 3/14 4/11 5/15		福島市市民活動サポートセンター	適時課題